

卒業式の服装について

平素より、神戸市教育行政及び学校教育活動へのご理解・ご協力を賜りありがとうございます。
さて、近年、小学校卒業式において袴等の着用が全国的に話題となっています。

卒業式は、学習指導要領に定められた学校行事であり、厳粛で清新な雰囲気の中、小学校生活最後の「授業」として、成長した自分の姿を表現することにその意義があると考えております。

つきましては、卒業式に向けてご準備を進められているご家庭へ、取り急ぎ式での服装について、これまでと同様に下記の内容でご連絡させていただきます。

記

1. 基本的な考え方

教育委員会としては、袴や裾が地面につくような長いスカート、かかとの高い靴、厚底の靴などは、健康面や安全面において様々な問題が生じていることから、小学校での卒業式の服装としては適切でないと考えております。卒業式の意義をご理解のうえ、式での服装について、今一度、お子様と一緒に考えていただき、よりふさわしいものでご出席いただきますようお願いいたします。

2. これまでに生じた問題

①体調面での問題

- ・早朝からの着付けや長時間にわたり体を締め付けられることにより、気分が悪くなり、途中で退席せざるを得なくなった児童がいた。
- ・トイレの対応に手間取って、我慢を強いられる児童がいた。

②安全面での問題

- ・履き慣れない靴のため、式中の移動やステージに並ぶ際に転倒した。
- ・足元が不安定でよろけた際、周りにいた児童と接触し、その児童も転倒しそうになった。

③運営面での問題

- ・着慣れない服装のため動きにくく、また、着崩れすることにより、準備してきた学習の成果（姿勢、歩き方、所作等）が発揮できなかった。
- ・移動に時間がかかり、式全体の時間が長くなってしまった。

【お問い合わせ】

神戸市教育委員会事務局学校教育課
984-0713